

福岡県立大学 大学院 人間社会学研究科

社会福祉・心理臨床・子ども教育に関わる専門的知識を有し
高度福祉社会の実現に貢献できる人材を養成しています

社会福祉
専攻

心理臨床
専攻

子ども教育
専攻



カリキュラム

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
------	------	------	------

社会福祉専攻

コア科目	☆ 特別研究Ⅰ フィールドワーク	☆ 特別研究Ⅱ
専門科目	☆ 社会福祉研究法 量的研究法 質的研究法	
	☆社会福祉研究 ☆ソーシャルワーク研究 高齢者福祉研究 障害者福祉研究 地域福祉研究 子ども家庭福祉研究 精神保健福祉研究 福祉制度比較研究 地域問題研究	社会福祉演習 ソーシャルワーク演習 高齢者福祉演習 障害者福祉演習 地域福祉演習 子ども家庭福祉演習 精神保健福祉演習 社会保障制度研究 地域問題演習

「研究」、「演習」の各科目は2年次でも履修可能

※ ☆印は必修

心理臨床専攻

必修科目	特別研究Ⅰ	特別研究Ⅱ
心理臨床基礎科目	臨床心理学特論	
	臨床心理面接特論	
	※心理支援に関する理論と実践	
	臨床心理基礎実習A	
	臨床心理基礎実習B	
	※心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習
		臨床心理実習
		※心理実践実習A
		※心理実践実習B

選択科目	A群	心理学研究法特論	心理学統計法特論
心理臨床専門科目	B群	認知心理学特論	発達心理学特論
実践展開科目	C群	社会心理学特論	
	D群	神経生理学特論	老年心理学特論
	E群	投影法特論	※産業・労働分野に関する理論と支援の展開
			※福祉分野に関する理論と支援の展開
			※教育分野に関する理論と支援の展開
			※心の健康教育に関する理論と支援の展開

※A～E群：2年次でも履修可能

※実践展開科目：2年次でも履修可能

(注) 臨床心理士の受験資格を得るためには、心理臨床基礎科目のすべてとA～E群からそれぞれ1科目以上を修得する必要があります。
 (注) 公認心理師の受験資格を得るためには、※で示した科目をすべて修得する必要があります。

子ども教育専攻

コア科目(必修)	特別研究Ⅰ	特別研究Ⅱ
専門科目(選択)	子ども教育実践実習Ⅰ	子ども教育実践実習Ⅱ
	教育課題研究 A	地域教育課題演習
	教育課題研究 B	

専門科目(選択)	子ども教育課程研究 子ども保育計画研究 子ども教育制度研究 子どもの心理研究 子ども音楽表現研究 子ども造形表現研究 子ども健康教育研究 子ども身体教育研究 子どもの福祉研究 学校教育研究 子育ての社会学研究	子ども教育課程演習 子ども保育計画演習 子ども教育制度演習 子どもの心理演習 子ども音楽表現演習 子ども造形表現演習 子ども健康教育演習 子ども身体教育演習 子どもの福祉演習 学校教育演習 子育ての社会学演習 特別支援教育演習
----------	--	--

「研究」、「演習」の各科目は2年次でも履修可能

※ 他専攻から4単位以上を修得することができる

社会福祉専攻

ソーシャルワークの真髄を究める
理論と実践の融合を目指しています

- 仕事をしている人も安心の土日祝日の授業開講!!
- 初心者にも優しい多彩な研究法を学ぶ科目を新設!!
- 幅広く社会福祉分野を網羅した充実の専門科目!!
- 認定社会福祉士にも対応!!



1 土日祝日の授業開講

社会福祉専攻では、土日祝日にも授業を開講することで、働きながら学ぶことができる仕組みにしています。社会福祉専攻に在学している大学院生の多くは、職業を有しながら大学院で学んでいます。一部の科目で遠隔授業も導入しています。

2 研究法を学ぶ科目の新設

研究の基礎を固める「社会福祉研究法」(2単位・必修)では、修士論文を執筆するために必要不可欠な文献検索・収集・講読法、研究計画書作成法、研究倫理、論文執筆作法、プレゼンテーション法などを学びます。この科目をさらに発展させる「量的研究法」「質的研究法」(ともに1単位・選択)も設置しており、主に質問紙調査・インタビュー調査法を学ぶことでデータ収集・分析法の基礎を習得することができます。

3 充実の社会福祉専門科目

社会福祉学の基盤となる科目「社会福祉研究・演習」「ソーシャルワーク研究・演習」と同時に、「子ども家庭福祉研究・演習」「障害者福祉研究・演習」「高齢者福祉研究・演習」「地域福祉研究・演習」「精神保健福祉研究・演習」「地域問題研究・演習」などの分野科目も充実しています。

4 認定社会福祉士対応

社会福祉士国家資格の上乗せ資格である認定社会福祉士の取得に必要な単位となる科目を設けます。研究方法系科目(「社会福祉研究法」「量的研究法」「質的研究法」と論文指導系科目(「特別研究Ⅰ・Ⅱ」*)がこれに相当します。なお研究方法系科目は科目等履修生も受け入れます。

*2021年度申請予定

修士論文については、研究指導教員から作成指導を受ける「特別研究Ⅰ・Ⅱ」があります。
さらに、大学院生毎に研究指導補助教員1名を決めて、在学中の学びを丁寧にサポートしていきます。

教員紹介(7名)

特任教授
細井 勇

博士(社会福祉学)

【研究分野】
社会事業史

【主要担当科目】
特別研究Ⅰ・Ⅱ、社会福祉研究、
社会福祉演習 他

教授
本郷 秀和

博士(社会福祉学)

【研究分野】
高齢者福祉

【主要担当科目】
特別研究Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉研究、
量的研究法 他

教授
住友 雄資

博士(臨床福祉学)

【研究分野】
精神保健福祉

【主要担当科目】
特別研究Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉研究、
社会福祉研究法 他

教授
村山 浩一郎

【研究分野】
地域福祉

【主要担当科目】
特別研究Ⅰ・Ⅱ、地域福祉研究、
地域福祉演習 他

准教授
奥村 賢一

博士(社会福祉学)

【研究分野】
学校ソーシャルワーク・子ども家庭福祉

【主要担当科目】
特別研究Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭福祉研究、
子ども家庭福祉演習 他

准教授
河野 高志

博士(福祉社会学)

【研究分野】
ソーシャルワーク理論

【主要担当科目】
ソーシャルワーク研究、
ソーシャルワーク演習

准教授
堤 圭史郎

博士(文学)

【研究分野】
社会的排除・生活困窮者支援

【主要担当科目】
地域問題研究、
地域問題演習



心理臨床専攻

地域に根ざし、人と人とのつながりを大切にする
心理専門職を養成しています

本専攻は、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院で、また国家資格である公認心理師になるために必要な科目を配置しています。

他大学院と比較した場合、本学には臨床心理士・公認心理師養成について次のような特徴があります。

1 心理教育相談室におけるカウンセリング実習の充実

- 悩みを抱えた人の話を丁寧に聴き、心理学の観点から援助してゆくカウンセリングの営みが心理臨床の基本であり、その重要性和基本的技能を身につけることが大学院修士課程において最も重要な学びと考えています。
- 本学の年間延べ面接回数は約1,300回、院生数は12名前後であり、1名の相談員が大学院で担当できるケース数が多いことが特徴です。カウンセリング実習が他大学院に比べて、非常に充実しています。

2 幅広い専門分野の教員と合同カンファレンス

- カウンセリング実習に対するスーパービジョンは、人間性心理学、精神分析、認知行動療法、家族療法、また精神科医と様々な立場の教員から受けることができます。合同カンファレンスは、教員全員が参加して行われており、多角的な視点で事例を理解する力がつきます。
- 本学の特徴として、学生全員がペアレントトレーニングに参加することで、認知行動療法の基礎である行動分析を身につけることができます。

3 大学院生と修了生との学びの場としての心理教育相談室

- 本学修了生は福岡県内への就職希望者が多いですが、地元就職する方や関西、関東圏に就職する方など様々です。医療分野が半数を占めていますが、教育分野、福祉分野への就職もしています。
- 福岡県内で就職した修了生の多くが、カウンセリングの基礎をしっかりと身につけるために、在学中に担当した事例を継続して担当し、卒後研修を行っています。そのため、大学院生と修了生が協働して事例を担当するなど、心理教育相談室は互いに刺激を受け、また、大学院生は修了生に支えられながら心理臨床の仕事について学びあえる場となっています。
- 福岡県立大学心理臨床研究会を年6回開催しています。リカレント教育でもあり、院生と修了生や近隣の心理職との交流の場として機能しています。
日本臨床心理士資格認定協会の定例研修会としても認められています。

修士論文については、研究指導教員から作成指導を受ける「特別研究I・II」があります。
さらに、大学院生毎に研究指導補助教員1名を決めて、在学中の学びを丁寧にサポートしていきます。

教員紹介（7名）

准教授
池 志保

【研究分野】
臨床心理学、発達心理学
【主要担当科目】
発達心理学特論 他

教授
岩橋 宗哉

【研究分野】
臨床心理学、精神分析的心理療法
【主要担当科目】
臨床心理学特論 他

教授
上野 行良

【研究分野】
社会心理学
【主要担当科目】
社会心理学特論 他

教授
小嶋 秀幹

博士(医学)
【研究分野】
社会精神医学、精神保健学
【主要担当科目】
保健医療分野に関する理論と
支援の展開 他

講師
小山 憲一郎

博士(医学)
【研究分野】
臨床心理学、認知行動療法
【主要担当科目】
心の健康教育に関する理論と
実践 他

准教授
麦島 剛

【研究分野】
生理心理学
【主要担当科目】
神経心理学特論 他

教授
吉岡 和子

博士(人間環境学)
【研究分野】
臨床心理学、心理査定学
【主要担当科目】
臨床心理査定演習 他



子ども教育専攻

保育・幼児教育分野の高度な専門的職業人や研究者を育成しています

- 近年の保育・教育を取り巻く保育施設の拡充、質の充実の課題を受け、2017年度より人間社会学研究科に子ども教育専攻が設置されました。
- 2019年3月には初の修了生を送り出し、現在5名の大学院生が在籍しています。
- 保育、幼児から学童期の教育に興味・関心をお持ちの方のお越しをお待ちしています。
- 保育、教育現場で働いていらっしゃる皆様の受験も可能ですので、是非お問い合わせください。

1 本専攻の特色

- ①子ども教育分野の高度な専門的職業人及び研究者を育成することを目的としています。
- ②子ども教育に関わる先進的な取組事例の研究などを通じて、保幼小連携の強化への取り組みに対応できる幅広い専門知識の修得を目指します。
- ③子ども教育分野における今日的な教育課題や地域教育課題を自ら見出し、解決できるような保育者・教員などの高度専門職業人として必要とされる、優れた問題解決能力の修得を目指します。
- ④子ども教育の現場での実習と大学院における理論学習の往還を重ねて、現場をリードする質の高い実践的指導力の修得を目指します。
- ⑤多分野にわたる12名の指導教員によって構成されており、きめ細かい指導を受けることができます。

2 本専攻の強み

①多分野にわたる教員による指導

さまざまな分野を専門とする教員によって、保育学・教育学・児童福祉学および関係諸科学に関わる科目の指導を受けることができます。

②学習しやすい時間割構成

子ども教育専攻では、社会人の方も仕事と無理なく両立できるよう配慮して時間割が構成されています。子ども教育専攻に在学している大学院生の半数が、職業を有しながら大学院で学んでいます。

③充実の専門科目

「子ども教育コア科目」(必修科目)と「子ども教育専門科目」(選択科目)で編成されています。

○必修科目

子ども教育コア科目

「教育課題研究A・B」「地域教育課題演習」
「子ども教育実践実習I・II」

○選択科目

- 専門的知識を身につける「研究」科目群
- 論理的思考力・探究力を身につける「演習」科目群

修士論文については、研究指導教員から作成指導を受ける「特別研究I・II」があります。
さらに、大学院生毎に研究指導補助教員1名を決めて、在学中の学びを丁寧にサポートしていきます。

教員紹介(12名)

特任教授 福田 恭介

文学博士

【研究分野】
認知心理学、教育心理学

【主要担当科目】
子どもの心理研究、
特別研究I・II 他

教授 池田 孝博

博士(スポーツ健康科学)

【研究分野】
スポーツ科学(発育発達・測定評価)

【主要担当科目】
子ども健康教育研究、
特別研究I・II 他

教授 杉野 寿子

【研究分野】
社会福祉学

【主要担当科目】
子どもの福祉研究、
特別研究I・II 他

准教授 鷲野 彰子

博士(文学)

【研究分野】
音楽表現、音楽学

【主要担当科目】
子ども音楽表現研究、
特別研究I・II 他

准教授 大久保 淳子

【研究分野】
教育学(幼児教育)

【主要担当科目】
子ども教育課程研究、
子ども教育課程演習 他

准教授 藤澤 健一

【研究分野】
教育制度・政策論

【主要担当科目】
学校教育研究、学校教育演習、
特別研究I・II 他

准教授 中原 雄一

博士(体育学)

【研究分野】
体力学、運動生理学

【主要担当科目】
子ども身体教育研究、
特別研究I・II 他

准教授 佐野 麻由子

博士(社会学)

【研究分野】
社会学(ジェンダー)

【主要担当科目】
子育ての社会学研究、
特別研究I・II 他

講師 櫻井 晋伍

【研究分野】
造形教育

【主要担当科目】
子ども造形表現研究、
子ども造形表現演習 他

講師 伊勢 慎

【研究分野】
保育学

【主要担当科目】
子ども保育計画研究、
子ども保育計画演習 他

講師 董 秋艶

博士(教育学)

【研究分野】
教育学

【主要担当科目】
子ども教育制度研究、
子ども教育制度演習 他

助教 二見 妙子

博士(社会福祉学)

【研究分野】
インクルーシブ教育・保育

【主要担当科目】
特別支援教育 他

2022(令和4)年度 入試概要

区 分		秋季日程	春季日程 ^(注2)
募集人員	社会福祉専攻	6名	未定
	心理臨床専攻	6名	未定
	子ども教育専攻	3名	未定
試験科目	個別学力試験	外国語 ^(注1) ：英語 専門科目：専攻に関するもの 口頭試問：あらかじめ提出した研究計画書に基づく	
出願期間		令和3年 9月27日(月)～ 令和3年 10月4日(月)17時必着	令和4年 1月14日(金)～ 令和4年 1月24日(月)17時必着
試験日		令和3年 10月16日(土)	令和4年 2月5日(土)
合格発表		令和3年 10月22日(金)	令和4年 2月10日(木)

注1: 社会人受験者は英語の代わりに小論文を選択することができます。

注2: 春季試験は、秋季試験で募集人数を満たさなかった専攻のみ行います。



大学院入試問題の過去問題の取り扱いについて

本学では、大学院入試の過去5年分の試験問題は、事務局教務入試班窓口で閲覧できます。ただし、当該年に受験者がいなかった研究科・専攻の各問題は、閲覧できません。

閲覧に当たっては、必ず身分証明書等を持参してください。身分証明書をお預かりして、1時間を目処に問題集をお貸しします。

また、著作権法との関係で、問題集の閲覧は私的使用に限られますのでご注意ください。

閲覧時間は、平日9時から17時まで。

閲覧希望者は、備え付けの閲覧簿に氏名等必要事項を記入してください。

この件に関する問い合わせは、福岡県立大学アドミッション・オフィスへお願いします。

連絡先 TEL:(0947) 42-2118 (代表)

